



東北地域の和食文化メールマガジン

令和5年8月9日（水）第53号



【目次】

1. 農林水産省 令和5年度和食文化継承リーダー研修の募集開始
2. 農林水産省 和食普及イベントを開催（大阪・仙台・福岡）
3. 農林水産省「野菜の日（8月31日）」Web シンポジウム開催
4. 農林水産省「aff」8月号について

=====

1. 農林水産省 令和5年度和食文化継承リーダー研修の募集開始

=====

ユネスコ無形文化遺産に登録され、世界中から注目されている和食を今後も未来へと受け継いでいくため、和食文化の魅力と文化継承の方法を学ぶ機会を提供し、次世代に伝える担い手を育成する研修です。研修は無料です。

※こんな方にお勧めです！

- ・食育の授業で何をしたらいいのかわからない。
- ・地元の郷土料理を伝えたい。
- ・和食文化を通じて子供たちの人間性を育てたい。

<募集期間> 8月1日（火）～2024年1月11日（木）

<研修内容>

Step1 基礎研修：8月1日～2024年1月11日（実践研修参加日の前日までに受講を完了。）

・和食の基本的な知識、魅力、暮らしの中での楽しみ方、世界から注目されている理由を知り、和食文化の豊かさと未来へと伝える大切さを学びます。動画学習サービス「gacco」により、いつでも受講可能。

Step2 実践研修：10月7日～2024年1月12日

・基礎研修で得た知識をさらに深めつつ、「和食文化継承リーダー」に必要な、次世代にどのように伝えるか実践的な方法を学びます。会議システム「Zoom」を使ったオンラインのグループワーク。都合のよい日に参加可能。

Step3 実地研修：2024年2月19日（レポート提出期限）

・「和食文化継承リーダー」としての実際の活動を想定し、基礎研修や実践研修での学びを活かして、職場など自身のフィールドで和食文化の継承に関する活動を実践。活動後、「gacco」を使用してレポートを作成・提出。

【研修の詳細、申し込みはこちら】和食文化継承リーダー研修ホームページ（おいしい和食のはなし。）→

<https://ouchidewashoku.maff.go.jp/training/>

（「児童向け教材」に 2022 年度に実施された「モデル授業レポート」宮城教育大学附属小学校も掲載されています。）

【和食文化継承リーダーを紹介する冊子はこちら】和食文化継承リーダー 冊子「つむがれる和食の未来」→
<https://ouchidewashoku.maff.go.jp/pdf/flyer/guide.pdf>

=====

2. 農林水産省 和食普及イベントを開催（大阪・仙台・福岡）

=====

農林水産省は、一般社団法人和食文化国民会議と連携し、和食のユネスコ無形文化遺産登録 10 周年を迎えることを契機とした、和食文化普及イベントを 3 都市で開催します。オンライン参加も可。

【詳細、参加申し込みはこちらから】農林水産省 HP→

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/wasyoku/230801.html>

<大阪会場>

テーマ：「和食の「わ」を広げるシンポジウム

日時：令和 5 年 9 月 30 日（土曜日）11 時 00 分から 15 時 20 分まで

場所：ハグミュージアム（大阪府大阪市西区千代崎 3 丁目南 2 番 59 号）

内容：・野崎洋光氏（分とく山 総料理長）による和食の魅力を伝える調理実演と基調講演

・野崎洋光氏、東洋大学准教授の露久保美夏氏、龍谷大学教授の山崎英恵氏及び武庫川女子大学准教授の藤本勇二氏による「伝え継ぎたい、家庭の和食文化（仮題）」をテーマとしたパネルディスカッション等

<仙台会場>

テーマ：「世界に誇る和食文化の魅力」を伝えるシンポジウム

日時：令和 5 年 10 月 12 日（木曜日）13 時 00 分から 16 時 15 分まで

場所：仙台国際センター（仙台市青葉区青葉山無番地）

内容：・山田チカラ氏（山田チカラ オーナーシェフ）による和食の魅力を伝える基調講演

・山田チカラ氏、梅花女子大学准教授の東四柳祥子氏、長野県立大学教授の中澤弥子氏及び株式会社イーフード代表の青木ゆり子氏による「健康的な食生活を支える、和食のチカラ（仮題）」をテーマとしたパネルディスカッション等

<福岡会場>

テーマ：「サステナブルな和食」を知るシンポジウム

日時：令和 5 年 10 月 23 日（月曜日）13 時 00 分から 16 時 15 分まで

場所：アクロス福岡（福岡県福岡市中央区天神 1 丁目 1 番 1 号）

内容：・堀内さやか氏（御料理ほりうち 店主）による和食の魅力を伝える基調講演

・堀内さやか氏、京都府立大学客員教授の佐藤洋一郎氏、一般社団法人日本ガストロノミー協会会長の柏原光太郎氏及びシェフ・フォー・ザ・ブルー代表理事の佐々木ひろこ氏による「地域の多様な和食文化を未来に残すために（仮題）」をテーマとしたパネルディスカッション等

=====

3. 農林水産省「野菜の日（8 月 31 日）」Web シンポジウム開催

=====

8 月 31 日は、野菜「8(ヤ)3(サ)1(イ)」の日です。

農林水産省は、野菜の消費拡大に向けて、本年ユネスコ無形文化遺産登録 10 周年を迎える「和食」の一つである「漬物」に注目し、最新データに基づいた漬物の特徴等について基調講演を行うとともに、時代にマッチし

た漬物の生産や、食生活の中での新たな取り入れ方等について、多様な方々と意見交換し理解を深めるための Web シンポジウムを開催します。

日時：令和 5 年 8 月 31 日（木）14 時 00 分から 16 時 00 分まで

会場：申込後、Web シンポジウム参加用の URL を各参加者へメールでお送りいたします。

内容：・宮尾 茂雄 氏（東京家政大学大学院 客員教授）による基調講演「つけもの－その魅力と健康力－」

・秋本 薫 氏（株式会社アキモ 代表取締役社長）、上大田 光成 氏（独立行政法人農畜産業振興機構 理事）、竹内 富貴子 氏（株式会社カロニック・ダイエット・スタジオ 主宰）、遠山 昌子 氏（赤城フーズ株式会社 代表取締役社長）、宮尾 茂雄 氏（東京家政大学大学院 客員教授）、（モデレーター）宇井 伸一（農林水産省 農産局 園芸流通加工対策室長）による「野菜の日に、あらためて「漬物」から野菜の消費拡大を考える」をテーマとしたパネルディスカッション等

【詳細、参加申し込みはこちらから】農林水産省 HP→

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/ryutu/230801.html>

=====

4. 「aff」8月号について

=====

農林水産省の広報誌「aff」は、偶数月に「旅する農業遺産」を掲載しています。全国各地の農業遺産認定地域を、旅をするように御案内しています。

8月号の特集は、「川魚を知って好きになる！」です。

【aff】最新号はこちらから】農林水産省 HP→

<https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/index.html>

=====

問い合わせ先：東北地域の和食文化ネットワーク事務局 東北農政局経営・事業支援部食品企業課 担当：小田桐

TEL：022-263-1111（内 4570）

メールアドレス：keisyonw-tohoku@maff.go.jp

※東北地域の和食文化メールマガジンへの御意見・御要望をお待ちしております。

★農林水産省の Web サイト（和食文化ネットワーク）→

<https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/network/main.html>

☆東北農政局や農林水産省では、このほかにも各種メールマガジンを発行しております。申し込みはこちらから→

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>